



15分でちょっぴり知る、
AWS Summit Tokyo
ソフトウェア / SaaS 事業会社向け特集

Tsukamoto Mari

Solutions Architect

Amazon Web Services Japan G.K.

塚本 真理(Tsukamoto Mari)

アマゾンウェブサービスジャパン
技術統括本部 ソリューションアーキテクト

経歴:

- ISV系企業での開発・インフラ管理

好きな AWS サービス:

- Amazon RDS、AWS Amplify

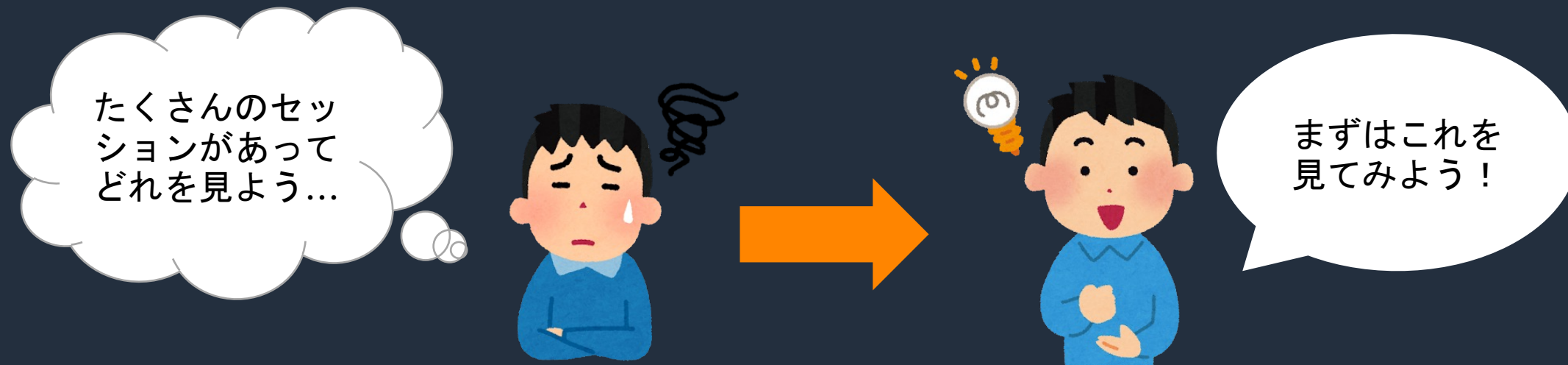
趣味:

-子供と電車めぐり、バイク、イラスト作成



本セッションの目的

2023年に行われたAWS Summit のセッションの中から
SaaS事業者への関わりの高いセッションをピックアップしてご紹介



2023年5月22日～オンデマンド配信が行われています！

* 2023年6月23日配信終了予定

ご紹介するセッション

1. パッケージビジネスから SaaS ビジネスへ事業変革！～お客様に安心して SaaS を採用頂くための取り組みを紹介～（株式会社 Works Human Intelligence 様）
2. 老舗会計ソフトウェアベンダーからクラウド会計ソフトウェアベンダーへ（弥生株式会社様）
3. SQL Server から OSS へ！オンプレ電子薬歴を本格クラウドシステムへの進化の道（株式会社グッドサイクルシステム様）
4. 18 万台のカメラが接続する Safie のモダナイゼーションへの取り組み（Safie株式会社様）
5. AWS で自社ソフトウェアやサービスを販売しよう！出品プロセスおよびサービスタイプ別実装ガイドのご紹介（AWS PSA：櫻谷 広人）

* AWS Summit での発表順でのご紹介となります。

パッケージビジネスから SaaS ビジネスへ 事業変革！

～お客様に安心して SaaS を採用頂くための取り組みを紹介～

株式会社Works Human Intelligence様

概要

- 総合人事管理システム「Company」を提供
- オンプレでの提供形態から**SaaS提供**へ
- パッケージ製品をSaaS化するにあたっての**利益率の確保、お客様への訴求、サポート品質向上、人材育成**を実施

SaaS化

クラウド人材育成

SaaSビジネスに舵を切った理由



お客様にもWHIにもメリットがあることがわかり、SaaSビジネスに舵を切ることを決意

外部環境の変化	内部環境の改善	お客様への価値提供
<ul style="list-style-type: none">• 政府のクラウド・バイ・デフォルト原則• HR Tech業界全体でSaaSの流行	<ul style="list-style-type: none">• 最新版(COMPANY Ver.8)を提供する体制にシフトし、社内リソースを集中したい• アプリだけでなくインフラまで含めた改善で価値を提供したい	<ul style="list-style-type: none">• 高いセキュリティ水準でのサービス提供• システムの構築・運用・管理の手間の削減• クラウドサービスならではの機能提供

© 2023 Works Human Intelligence Co., Ltd.

16

「パッケージビジネスから SaaS ビジネスへ事業変革！ ～お客様に安心して SaaS を採用頂くための取り組みを紹介～」資料P16

セッションURL : <https://jpsummit.awsevents.com/public/session/view/515>



© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. Amazon Confidential and Trademark.

AWS活用のポイント

コストの最適化



Savings Plans、Migration Acceleration Programの活用、新サービスPoCに対するクレジット発行、アーキテクチャ改善

サービスへの信頼性の向上



第三者機関の認証取得、AWS Foundational Technical Reviewの実施

開発者へのクラウド教育強化



資格取得キャンペーン、ワークショップ、Office Hour（相談会）、各種プログラムの利用

見どころ

AWS サービス以外にも制度やサポートを有効利用

課題の解消



SaaSビジネスの課題について、AWS のサポートも受けながら解消を進めることができました

- 課題1 会社全体としての利益率の維持
- 課題2 クラウド利用が難しいお客様への提案
- 課題3 SaaSにおけるサポート品質の向上
- 課題4 開発者全体に対するクラウド教育の強化

© 2023 Works Human Intelligence Co., Ltd.

19

「パッケージビジネスから SaaS ビジネスへ事業変革！ ～お客様に安心して SaaS を採用頂くための取り組みを紹介～」資料P19



老舗会計ソフトウェアベンダーから クラウド会計ソフトウェアベンダーへ

弥生株式会社様

概要

- 業務支援サービスと事業支援サービスを実施
- 新サービスについては**全面的にクラウドベース**で
- 新しい未来を作るため、リリース→フィードバック→イノベーションのサイクルを早めて**開発時間の短縮**を実施

開発体制改善

マネージドサービス活用

セキュリティ対策

未来を実現するために

今までの弥生

- 既存製品の法令対応
- 既存製品のブラッシュアップ
- 持続的イノベーション



これからの弥生

- 新しい価値の創造
- 破壊的イノベーション

「既存製品は売れているのに、なぜ新しい事を？」
「新しい価値ってなんだ？」

© 2023, Yayoi Co., Ltd. All rights reserved.

セッションURL : <https://jpsummit.awsevents.com/public/session/view/516>

「老舗会計ソフトウェアベンダーからクラウド会計ソフトウェアベンダーへ」資料P2



© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. Amazon Confidential and Trademark.

AWS活用のポイント

セキュリティ対策

AWS Control Tower を活用してセキュアなアカウント運用と、ガードレールによる開発者の操作を統制

運用の効率化

Managed Serviceを活用し、管理しなければならないレイヤーを減らす

セミナーや相談会の活用

AWS DevAx::connect *、Office Hour（相談会）、プロフェッショナルサービスなどを始め各種プログラムの利用

* AWS DevAx::connect

「開発者による開発者のためのウェビナー」としてクラウドを活用したモダンなソフトウェア開発を進めていくための実践的な情報の提供とディスカッションを行う。

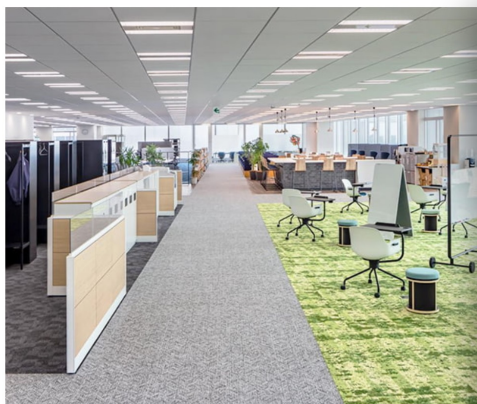
見どころ

開発スピードを上げていくための運用体制

未来を実現するために

開発で時間がかかっている事は何だろう？

- ・リリース
- ・テスト
- ・ドキュメント作成
- ・セキュリティ対応
- ・製品の仕様決定
- ・MTG

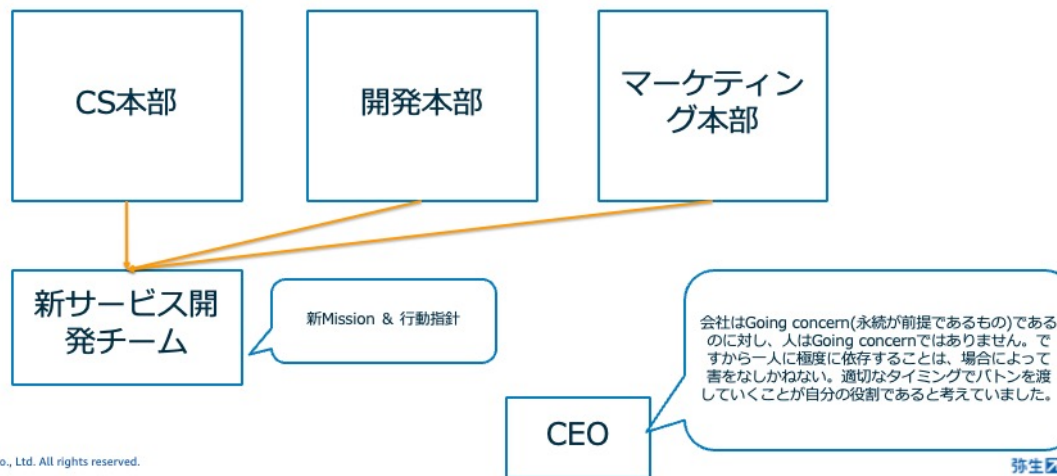


© 2023, Yayoi Co., Ltd. All rights reserved.

「パッケージビジネスから SaaS ビジネスへ事業変革！
～お客様に安心して SaaS を採用頂くための取り組みを紹介～」資料P21,34

未来を実現するために

CEO交代＆新サービス開発チームに関係者全員集めて自律的に動ける組織へ



© 2023, Yayoi Co., Ltd. All rights reserved.

弥生

SQL Server から OSS へ！ オンプレ電子薬歴を 本格クラウドシステムへの進化の道

株式会社グッドサイクルシステム様

概要

- **電子薬歴**（患者カルテ）を提供
- サービスの向上のためオンプレ→**クラウド化**
- SQL Server のライセンス費用削減などを目的に、**データベースのマイグレーション**を実施
- **マルチテナント**の導入

クラウド化

DBマイグレーション

マルチテナント化

INDEX

AWS Summit Tokyo 2023



- 01 会社紹介／自己紹介
- 02 電子薬歴って何？
- 03 GooCoの歴史
- 04 SQL ServerからPostgreSQL（Amazon Aurora）へ
- 05 オンプレミスからクラウドへ
- 06 マルチテナントとスケール
- 07 今後の展望

「SQL Server から OSS へ！オンプレ電子薬歴を本格クラウドシステムへの進化の道」資料P2

セッションURL : <https://jpsummit.awsevents.com/public/session/view/517>



© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved. Amazon Confidential and Trademark.

AWS活用のポイント

データベース
マイグレーション



Amazon Aurora (PostgreSQL)+Pgpool II を利用し、
ライセンス費用の削減、冗長化、マルチテナント
での利用を可能に

オンプレから
完全クラウド化



アーキテクチャの刷新
クライアント証明書の導入によりインターネット
からのアクセスを行うためのガイドラインに準拠

マルチテナント化



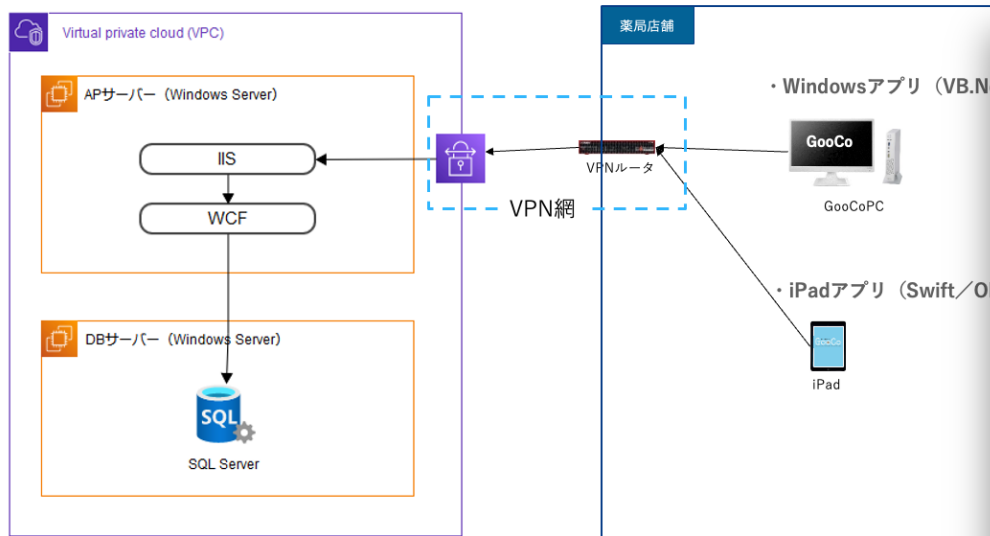
ELB、EC2 Auto Scaling Group の活用によるスケー
リングと Amazon FSx for Windows File Server を
利用した画像共有

見どころ

完全なクラウド化とマルチテナント構成

05-1 オンプレミスからクラウドへ

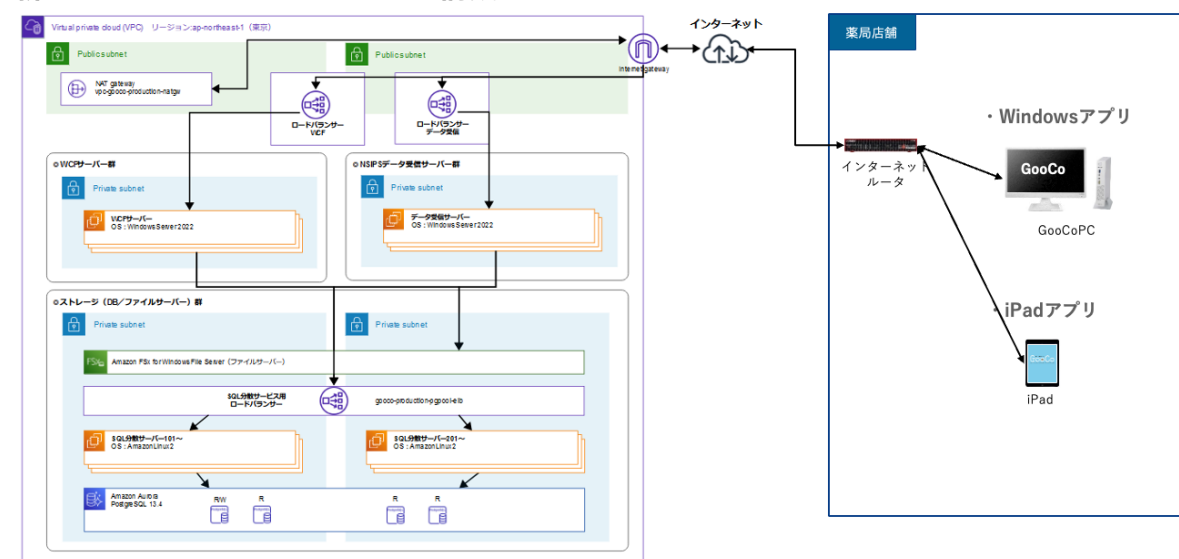
従来のGooCoのシステム構成



「SQL Server から OSS へ！オンプレ電子薬歴を本格クラウドシステムへの進化の道」資料P20,22

05-3 GooCoDX (クラウド) のシステム構成

新しいGooCoDXのシステム構成



18万台のカメラが接続する Safie の モダナイゼーションへの取り組み

Safie株式会社様

概要

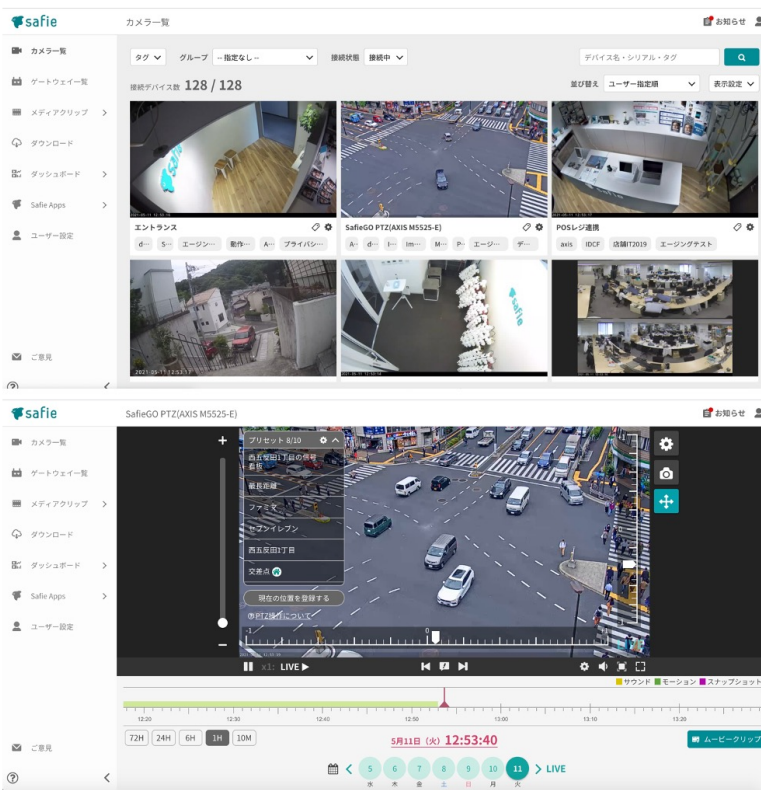
- クラウド録画サービス「Safie（セーフイー）」を提供
- サービスが大きくなるとともに運用管理における課題が増加
- Safie のアーキテクチャとマルチアカウント管理、セキュリティ、CI/CD などの課題改善に取り組んだ事例をご紹介します

運用改善

セキュリティ改善

Safie の紹介

safie



- クラウド経由で複数のカメラを管理/制御
- ライブ映像や録画映像をどこからでも視聴可
- アカウントベースでカメラや映像へのアクセス権をコントロール

© Safie Inc. | 6

セッションURL : <https://jpsummit.awsevents.com/public/session/view/518>

「18万台のカメラが接続する Safie のモダナイゼーションへの取り組み」資料P6



AWS活用の観点

複数アカウントでの運用

各アカウントでのIAMユーザーの作成をやめ、クロスアカウントアクセスへ

デプロイの効率化

AWS CodeDeploy による自動デプロイと、EC2 Auto Scaring Group を利用したEC2 インスタンスの置換

セキュリティの向上

AWS Systems Manager を利用し、作業ログを取得
インバウンドSSHポートの開放も不要に

データ分析基盤の運用効率化

AWS Step Functions を使ったデータ処理自動化と、
AWS Lake Formation による権限管理

見どころ

トイルの撲滅+セキュリティ向上

課題



- サービスの成長に比例して手作業で繰り返し行われる作業、いわゆるトイルが増えつつある状況だった

- トイルが増え続けるとサービスの信頼性向上に繋がる根本的な改善が割くことが難しくなり、更にトイルが増え続ける…といった負の連鎖を感じた

- トイル以外にもセキュリティリスクの低減についても取り組むと感じた

「18万台のカメラが接続する Safie のモダナイゼーションへの取り組み」資料P12、P15

チームで行った改善一覧（抜粋）



- コンテナ移行(AWS [Fargate](#) への移行) ※現在も移行中
- IAM ユーザーの利用をクロスアカウントアクセス方式に移行
- Amazon EBSボリュームタイプ(gp2 -> gp3)の変更
- NAT Gateway 冗長化
- Amazon EC2 Auto Scaling Group, AWS [CodeDeploy](#) の導入
- AWS Systems Manager Session Manager 導入
- Amazon RDS のデータ共有に AWS [Lake Formation](#) を採用
- AWS WAF Classic から AWS WAF V2 へ移行
- AWS Cost Categories によるコスト可視化
- 一部の SSL/TLS 証明書を ACM へ移行
- AWS Config の標準設定を定め Terraform モジュール化

AWS で自社ソフトウェアやサービスを 販売しよう！出品プロセスおよび サービスタイプ別実装ガイドのご紹介

AWS パートナーソリューションアーキテクト: 櫻谷 広人

概要

- AWS Marketplace はSaaS サービス、ソフトウェアを販売できる**AWS 上の販売チャネル**
- AWS Marketplace がユーザーにもたらすメリット、や出品プロセス、技術要件を知るためのセッション

AWS Marketplace

サードパーティのソフトウェア、データ、サービスを**検索、購入、デプロイ、管理**できる厳選されたデジタルカタログ

- セルフサービスでソフトウェアをデプロイ
- 柔軟な料金モデルを選択可能
- 中央管理によるガバナンスの強化、組織で利用されているソフトウェアの可視化
- AWS と統合されたシンプルな請求
- 豊富なセレクション



© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

The screenshot displays the AWS Marketplace homepage. At the top, there's a navigation bar with categories like 'Categories', 'Delivery Methods', 'Solutions', 'AWS IQ', 'Resources', and 'Your Selections'. A search bar is also present. Below the navigation, a large banner reads 'Solutions in AWS Marketplace' with the tagline 'Discover solutions that help you meet your business needs and allow you operate with confidence.' There are several featured sections: 'DEVOPS WORKSHOP SERIES' with a 'Register now' button, 'Unlock innovation with our software solutions' featuring 'HEALTHCARE SOLUTIONS' as a new addition, and a 'Live Webinar: Disruptions from COVID-19 compel digital innovation'. At the bottom, there's a section titled 'Explore solutions | by CATEGORY' with icons for Business Applications, Data and Analytics, Developer Tools, Infrastructure software, and Internet of Things. Below this, there are six solution cards: Business Applications solutions in AWS Marketplace, Cloud cost management, IT resource optimization, Enterprise Resource Planning (ERP), Workforce optimization, and Contact management.

「AWS で自社ソフトウェアやサービスを販売しよう！出品プロセスおよびサービスタイプ別実装ガイドのご紹介」資料P12

セッションURL : <https://jpsummit.awsevents.com/public/session/view/563>



ご紹介したセッション

1. パッケージビジネスから SaaS ビジネスへ事業変革！～お客様に安心して SaaS を採用頂くための取り組みを紹介～（株式会社 Works Human Intelligence 様）
2. 老舗会計ソフトウェアベンダーからクラウド会計ソフトウェアベンダーへ（弥生株式会社様）
3. SQL Server から OSS へ！オンプレ電子薬歴を本格クラウドシステムへの進化の道（株式会社グッドサイクルシステム様）
4. 18 万台のカメラが接続する Safie のモダナイゼーションへの取り組み（Safie株式会社様）
5. AWS で自社ソフトウェアやサービスを販売しよう！出品プロセスおよびサービスタイプ別実装ガイドのご紹介（AWS PSA：櫻谷 広人）

* AWS Summit での発表順でのご紹介となります。



Thank you!